

第 33 回全国大学弓道選抜大会

実施要項

1. 目的 大学弓道の育成を主眼とし、弓道競技実践の機会を与え、技能の向上を図るとともに相互の親睦を図る。
 2. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟・全日本学生弓道連盟
 3. 後援(申請先) スポーツ庁・明治神宮・一般財団法人明治神宮崇敬会・公益財団法人日本武道館
 4. 主管 東京都学生弓道連盟
 5. 期 日 (予選) 令和 3 年 5 月 1 日 (土)・2 日 (日) (標準実施日)
※関西地区は 5 月 3 日 (月)・4 日 (火)、
関東地区、九州地区は 5 月 8 日 (土)・9 日 (日) に行う。
(決勝) 令和 3 年 6 月 26 日 (土)・27 日 (日)
公式練習として弓道場の開放はない。
決勝トーナメント抽選会を 6 月 13 日 (日) にオンラインで実施する。
 6. 会 場 (予選) 主催者と各参加校の取り決めによる会場 (リモート開催)
(決勝) 全日本弓道連盟中央道場/明治神宮武道場至誠館弓道場
〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町 1-1
 7. 競技内容 近的競技
 8. 競技種類 団体競技
 9. 競技種別 男子の部・女子の部
 10. 競技内容 的中制 (坐射・直径 36cm 星的)
 11. 競技日程 5 月 1 日 (土)・2 日 (日) 予選
※関西 : 5 月 3 日 (月)・4 日 (火)、関東・九州 : 5 月 8 日 (土)・9 日 (日)
6 月 26 日 (土) 男子開会式
決勝トーナメント (男子の部)
競技終了後 男子閉会式
6 月 27 日 (日) 女子開会式
決勝トーナメント (女子の部)
競技終了後 女子閉会式
- ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、第 33 回大会は予選をリモート形式で実施し、上位 16 大学による決勝トーナメントを対面形式で実施する。
12. 競技方法 (1) チーム編成
 - ①競技は、男子の部は 5 人立、女子の部は 3 人立で行う。
 - ②チームの登録は、男子選手 8 名以内、女子選手 5 名以内とする。また、最低人数は男子 4 名、女子 2 名とする。
※当初発表の要項から選手の上限人数を変更しました。
 - ③チームの選手登録において男女の混成は認めない。
 - (2) 予選
 - ①両種別とも各自 4 射 1 回にて的中数の上位 16 チームを決勝トーナメント進出とする。
 - ②決勝トーナメント進出の為の同中競射を行うことが困難であるため、すべての予選参加校は四矢を引いたのち一手、一本、一本の順に記録を取る (一手以降は時間無制限)。
 - ③決勝進出校は、同中競射の要領で 2 回目の一本までの記録を加味した的中上位校 (2 回目の

一本による同数を含む)とする(四矢、一手、1回目の一本、2回目の一本の順に的中加味し、順位を決定する)。決勝進出校数は男女とも16に最も近い校数として、16からの数の変動が等しい場合は少ない校数とする。

- ④決勝トーナメント抽選会前日(6月12日)までに、決勝トーナメント進出校で棄権が発生した場合、繰り上げ出場を認める。ただし、決勝トーナメント抽選日(6月13日)以降に棄権が発生した場合、繰り上げ出場は行わない。

※当初発表の要項から競射相当分の行射について変更しました。

(3) 決勝トーナメント

- ①両種別とも各自4射1回のトーナメント法で行う。

- ②同中の場合は、両種別とも、各自一手にて、総的中数の多いチームの勝ちとする。

なお、1回の同中競射で勝敗が決まらない場合は、勝敗が決定するまで各自1射の競射を繰り返す。

※当初発表の要項から決勝トーナメントの同中競射について変更しました。

- (4) 制限時間については、予選・決勝トーナメントともに男子9分30秒・女子7分とする。ただし、同中競射においては制限時間を設けない。

※当初発表の要項から制限時間を変更しました。

- (5) 選手の変更及び交代については、「選手監督必携」を確認すること。

13. 表彰

- (1) 優勝大学に公益財団法人全日本弓道連盟より優勝旗(持ち回り)、賞状及びメダルを授与する。

- (2) 2位及び3位の大学に公益財団法人全日本弓道連盟より賞状及びメダルを授与する。

- (3) 優勝～3位の大学に全日本学生弓道連盟より賞状を授与する。

- (4) 優勝大学に公益財団法人日本武道館よりカップ及び賞状を授与する。

※今年度より、射道優秀の大学の選考は行わない。

14. 参加資格

- (1) 選手は、全日本学生弓道連盟に部員登録していること。

- (2) 下表に基づき、男子の部・女子の部ともに、各地区学生弓道連盟から選抜された大学。

- (3) 第31回大会の優勝及び射道優秀の大学で参加を希望する大学。(男子の部：明治大学・日本大学、女子の部：甲南大学)

競技種別	前々年度 優勝	前々年度 射道優秀	北海道	東北	関東	東京	北信越	東海	関西	中四国	九州	計
男子の部	1	1	2	2	4	10	2	4	9	4	3	42
女子の部	1		2	2	4	10	2	4	9	4	3	41

(前年度大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

15. 適用規則 全日本学生弓道連盟規約ならびに本実施要項による。(規約は改正予定)

16. 参加料 無料

17. 参加申込 参加校は全日本学生弓道連盟ホームページより、大会選手登録を行うこと。

18. 宿泊 京王観光より宿泊の斡旋を行います。全日本学生弓道連盟ホームページをご確認ください。

19. 注意事項 (1) 本大会優勝の大学には、次回大会の参加権を与える。

- (2) 「選手監督必携」を必ず確認すること。

- (3) 弓具・服装点検は実施しない。

- (4) 本大会より、取り矢は任意とし、体配は各校の方法で行う。

※当初発表の要項に(4)を追記しました。今大会からの変更点となりますので、ご注意ください。

20. 事故防止・救護体制・補償措置

(1) 事故防止について

「選手監督必携」において注意事項を啓発する。また、大会期間中においては、警備の役員、放送等により事故防止に関する注意事項を徹底する。

(2) 救護体制について

大会期間中は会場内に救護室を設置し、応急治療体制を整える。

(3) 補償措置について

決勝トーナメントにおいては、傷害保険に加入し、有事の補償体制をとる。

21. 新型コロナウイルス感染症への対応

2021年度全国大学弓道選抜大会の安全指針に依る。

22. 実施判断 社会情勢等を踏まえ、大会実施の判断を行う。参加者の安全確保の観点から、明治神宮で決勝トーナメントを行うことが困難であると判断した場合、予選と同様に全国各地の弓道場にて決勝を行う、又は大会を中止する。

23. 明治神宮で開催できない場合の決勝戦の内容

会場を主催者と各参加校の取り決めに依る全国各地の弓道場（原則予選会場と同じ）に変更し、リモート形式で実施する。日程は原則として変更しない。

24. 映像の取り扱いについて

個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないように、十分に配慮すること。権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して、撮影・配信等を中止すること。

25. その他 参加申込により、以後の関係資料について下記取り扱いの旨、承諾を得たものとする。ただし、下記(2)の月刊『弓道』への掲載に関しては、本人より不同意の申し出があった場合は、公開を停止する。

(1) 大会プログラムならびに関係書類への記載（氏名、所属大学）

(2) 大会結果報告として、月刊『弓道』・ホームページへの掲載（氏名、所属大学、写真）

(3) 次回大会以降の大会プログラムへの写真の掲載

(4) 報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。

